

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	弥右衛門土地区画整理事業		部課コード	1708	予算事業科目	010805020173	事	複	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市建設部	部長名(2次評価者)	海治 甲太郎		個別	全部	010805020173	-		
	担当部署	市街地整備課	所属長名(1次評価者)	横山 成郎		務	全部	010805020175	-		
	電話番号	088-823-9377	E-mail	kc-170800@city.kochi.lg.jp			全部	010805020176	-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	01 A新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	創意工夫と活力に満ちた交流拠点にふさわしい都市空間の創出に向けて、求心力のある都市中心核の形成を図るとともに、良好な市街地の形成に努めます。
款	08 土木費	政策	01 にぎわいの都市空間整備		
項	05 都市計画費	施策	03 良好な市街地の形成		
目	02 土地区画整理費	区分	01 弥右衛門土地区画整理事業		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	土地区画整理法, 土地区画整理法施行令, 土地区画整理法施行規則	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知広域都市計画事業弥右衛門土地区画整理事業施行規定に関する条例, 同施行規則等	
その他(計画, 覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民及び施行地区を利用する人すべて		
意図	どのような状態にしていくのか	幹線道路の整備及び他の都市施設の整備改善による良好な居住環境の形成と、工業地区における計画的な立地基盤の整備を図る。		
手段	事業実施体制等	測量設計等業務委託, 工事請負契約	事業開始年度	昭和63年度
			事業終了年度	平成26年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	弥右衛門土地区画整理事業 ●施行面積 135.3ha ●都市計画道路整備 9,415m 区画街路整備 26,705m 特殊街路整備 753m ●公園及び上下水道整備		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	総面積に対する整備面積(%)	整備面積により事業進捗率を算出	
	B	人口定着度(人)	居住促進における地区内定住人口の増加	
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標	98	100	100			
		実績	98	99.9	100			
	B	目標	4,800	5,500	5500			
		実績	5,087	5,602	5767			
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	1,898,618	703,369	252,577	159,523		
		財源内訳	国費(千円)	243,652	38,500	120		13,880
			県費(千円)					
			市債(千円)	734,148	253,096	80,234		48,300
			その他(千円)	244,716	84,365	26,745		
			一般財源(千円)	676,102	327,408	145,478		97,343
	翌年度への繰越額(千円)	170,846	38,140	59,523				
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	150,000	135,000	112,500	75,000		
		正規職員(千円)	150,000	135,000	112,500	75,000		
		その他(千円)						
		人役数(人)	20.00	18.00	15.00	10.00		
		正規職員(人)	20.00	18.00	15.00	10.00		
		その他(人)						
		総コスト=①+②(千円)	2,048,618	838,369	365,077	234,523		
市民1人当たりコスト(円)		5,998	2,461	1,075				
年度末住民基本台帳人数(人)	341,544	340,695	339,714					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 災害に強いまちづくり・安心して住める地域
適切に配置された都市計画道路、区画街路の整備、また公園等への緊急避難ルートとしてアメニティロードの整備。
- より良い生活環境の確保
安全な生活環境及び良好で活力のある都市空間の形成（街区公園・上下水道の整備）

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 1 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本業務は、土地区画整理事業において弥右衛門地区の秩序ある市街地の整備を進め、宅地利用の増進を図ることを目的としており、本市総合計画に位置付けられている。 また、事業の実施に対する市民のニーズは事業が概成したことにより非常に多くなっている。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	建物移転、街路・画地整備も完了し、22年8月6日付け換地処分公告により事業が概成したので、成果指標は十分に達成している。 また、土地区画整理事業での整備ではあるが、事業の手法等については概ね妥当である。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	昭和63年度に事業採択を受けてはじめた事業であり、事業の実施段階からであれば可能であるが、最終段階に至っての残業務に関してはできない。 また、経費削減については、これまでにコスト削減を進めてきており、概ね効率的にできている。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	土地区画整理事業での施行であり、法に則って事業をしており、極めて公平性が高く、適正な負担割合である。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	18.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）		
			D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	事業は換地処分により完了し、清算事務のみとなる。
B 経費削減に努め事業継続	
○ C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項